

「だけどちょっとこわいな」

誕生会の「おたのしみ」で4歳児のクラスがおばけやしきを担当することになりました。

みんなはどんな「おたのしみ」をしたい？

おばけやしき！

うん！おもしろそう。

さんせい！

さっそく誕生会に向けて必要なものを作っています。

おばけのかくれん所、うまくできません。

それならここに箱をくっつけようよ。

押さえとてあげようよ。

そして、誕生会当日の「おたのしみ」会場。

ヒュー〜 ドキドキ〜

こわーい！

どうしよう…

41ー…!

ドキドキしながらも好奇心いっぱいの子どもたち。

おばけやしき

ちょっとこわかったけどおもしろかった！

あぁ、こわかった！

もう一回入りたい。

わあ！出口だ。

みんなに楽しんでもらったことがうれしくて、クラスみんなの心にやりとげた達成感が広がっていきました。

目標に向かって協力することの大切さや楽しさを感じる事が出来るよう援助していきたいと思っています。

「トマトがなったよ」

5歳児にあこがれの気持ちを持っている4歳児の子どもたち。

畑の野菜の収穫にも興味しんしんです。

じゃがいも、見つけた！

ほくも探そうっと！

畑の土の中から豆つぼみのじゃがいもを発見し、子どもたちは大喜びでした。

ほくたちも野菜を育てみたいな。

うん！やってみよう。

それじゃあ、畑のトマトの脇芽を植えてトマトを育てみる？

ほく、トマト好き。

さんせい！ 本当にトマトなるか、実験やね。

暑期中、子どもたちは張り切って水やりをしました。

葉っぱ、元気になってきたね。

新しい葉っぱ出てきたよ。

黄色い花ついたり、きつ黄色いトマトやね。

ちょっと細長いね。

子どもたちは、トマトの苗の生長に期待をふくらませながら、友だちとの会話を弾ませていました。

そして、初めての収穫の日、5粒のトマトが黄色く輝いていました。

さっそくみんなで収穫をする係の順番を決め「とまとうばん」としてスタートしました。

5粒のトマトは4等分に切って、クラス全員でいただきました。

甘いわ。

感謝の味がロの中に広がりました。

おいしい！

このような体験が、新たな活動への意欲につながっていくよう、援助していきたいと思っています。